

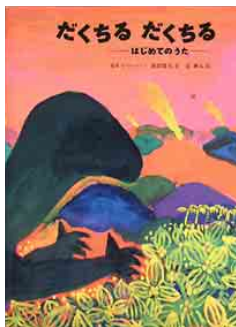
### だくちるだくちるーはじめてのうたー

V・ベレストフ 原案

阪田寛夫 文

長新太 絵

福音館書店 1993年 1300円



人間が誕生するずっと前のこと、ひとりぼっちのイグアノドンには寂しい思いをしていました。噴火する火山の「どがーんどがーん」という音しかしなかったからです。だけどもある日「だくちるだくちる」という音をさせて小さなプテロダクチルスが飛んできます。考古学者でもあるロシアの詩人の詩をもとにした絵本。友達に出会ったイグアノドンのはじけるような喜びが、力強く色鮮やかな画面からあふれています。

### だごだご ころころ

石黒漢子・梶山俊夫 再話

梶山俊夫 絵

福音館書店 1993年 1100円



じいさんが落としただご（だんご）を追いかけて、ばあさんは鬼につかまってしまい、ひとまぜすると粉がふえる宝のしゃもじで、鬼のために毎日だごを作ることになります。家に帰りたくなったらばあさんは、あかんとぼに助けられ、鬼から逃げだします。のびやかな絵が、だごの大好きなユーモラスな鬼や、体をまっかにしてばあさんを助けるあかんとぼを描き出しています。日本の昔話のおおらかさ、楽しさを満喫できる絵本です。

### たまごのあかちゃん

かんざわとしこ 文

やぎゅうげんいちろう 絵

福音館書店 1993年 743円



「たまごのなかで かくれんぼしてる あかちゃん は だあれ？でておいでよ」というよびかけの言葉に、にわとり、かめ、へび、ぺんぎん、最後はきょうりゅうまで、様々な動物のたまごと赤ちゃんが登場します。何のたまごか、考えるのも楽しい絵本です。原色の、シンプルな絵が、リズムカルな言葉の楽しさと一体となっています。